

江戸文化をひらく

編集の秘密

葛屋重三郎
江戸を編集した男



ゲスト講師

田中優子 たなか ゆうこ

江戸文化研究者、法政大学名誉教授、
法政大学元総長、イシス編集学校学長

専門は日本近世文化・アジア比較文化。江戸時代の価値観、視点、持続可能社会のシステムから、現代の問題に言及することも多い。主著に『江戸の想像力』（ちくま文庫）、『江戸百夢』（朝日新聞社、ちくま文庫）など。2005年、紫綬褒章受章。朝日新聞書評委員、毎日新聞書評委員などを歴任。

2025年大河ドラマ『べらぼう』の主人公は、葛屋重三郎。
この葛屋こそ、数多くの洒落本、黄表紙、狂歌を世に出し、歌麿、写楽を売り出した江戸最大のプロデューサーでした。

ひとは、時代の価値観の「型」にはまり、物事をそこからしか見なくなってしまうですが「編集」によってそれをほぐし、反対側からも横からも見ることを可能にします。葛屋の編集術には、発想を刺激するヒントが満載です。

『葛屋重三郎 江戸を編集した男』の著者であり

江戸文化研究第一人者の田中優子さんに、

葛屋が駆けぬけた江戸文化の世界と、

いまの私たちにつながる編集の秘密をお話いただきます。



2025年7月26日 土 14:00—15:30

ちえなみき2階 セミナー&スタディ

定員 | 30名 (どなたでもご参加いただけます) 参加費 | 無料

参加ご希望の方は、ちえなみきHPからお申し込み下さい。

<https://chienamiki.jp>

・定員に達した場合、立ち見での聴講は可能です。

・後日アーカイブ配信を予定しています。詳細は、ちえなみきHPにてご案内いたします。

